

## 2019 年度実施概要

## 学校名

島根県立吉賀高等学校

## 採択活動名

高津川流域を活用した森里海連環学への取り組み

## 取り組みの概要

授業での取り組みとしては、2年時は主に「高津川の水質調査」と「木材建築の見学と設計」を通して、森里川海のつながりを体験的に学んだ。また、林業体験や棚田体験、自ら野菜栽培をし、収穫まで行う体験を積む体験を通して、自然環境だけでなく、吉賀地域の現状を知り、地域の未来について、自らが主体となって考える力を身に付けた。3年時は、「高津川の生き物調査」や「ハマグリを始めとした海洋生物の調査」といった学習を通して、森から川、川から海、海から里への軌跡をたどり、そのつながりについて学んだ。また、堰堤やダム、魚道の見学、浄化センター見学などを通じて、地球環境について、自らの生活と結び付けながら、自らの問題として主体的に考えた。こうした学習を通じて、生徒達は、自分達が住む地域について、また地球全体について、自分達ができることは何かを考える思考力が身に付いてきた。そして、自然環境への興味関心と田舎暮らしへの憧れが生まれ、自らの生き方について広い視野で考える感性が養われた。

現在、多くの連携機関のおかげで、年間を通してさまざまな活動を実施できているが、それらが、それぞれ単発的な学びで終わってしまうところに課題が残った。それぞれの体験学習や理論学習が有機的なつながりを持ち、生徒の意識の中で体系化されるよう学びの組み立てを工夫したい。また、この学習が、総合的な探究の時間を始めとした他教科の授業と連動してくれば、より学びが深まることと思う。様々な教科の先生方と連携を図ることで、教科間の相互作用が生まれ、生徒の思考力・判断力・表現力等がより促進されるよう取り組んでいきたい。

地域クラブとしては、近隣の高等学校である津和野高校、益田高校3校合同で森里海連環学フィールドワークを春にはヒラメの稚魚を採集し、分類・個体数の確認・昨年度までとの比較を行い、稚魚から耳石を採集し、耳石からふ化後どのぐらいの日数が経過しているか調べ、海の生き物について見聞を広めました。夏には高津川を船で走行し、鮎を捕まえて実際に焼いて食べることで、川の恵を体感することが出来ました。また、秋には安蔵寺山でミズナラやブナなど植生を観察及びキノコを採取して学習することで森についての見聞を広めることが出来ました。その他にも、高津川の水質調査を中学校にも協力してもらい、2月に町が主催した「サクラマスプロジェクト報告会」で地域の方々に成果を報告しました。

## 活動中の写真

○地域クラブ：森里海連環学フィールドワーク

海



川



森



○環境基礎・環境演習授業風景



実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1. 普通科地域創造コース（グリーンライフコース）2年：「環境基礎」

2. 普通科地域創造コース（グリーンライフコース）3年：「環境演習」